

基本目標1

子育て・子育てを応援する制度の充実
～家庭の子育て・子育てを応援するまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね目標到達	目標到達にやや及ばず	目標到達できず
①	相談・支援体制の拡充	■	□	□	□
②	在宅育児応援サービスの継続	■	□	□	□
③	子育ての経済的負担の軽減	■	□	□	□
④	地域子育て支援拠点の充実	■	□	□	□
⑤	教育・保育事業の充実	■	□	□	□

【主な事業内容】

- ◎ (事業名) 子育て相談・支援体制整備事業
子育てに関する総合的な支援の中核施設として、平成27年に飯田市こども家庭応援センターを設置し、子どもの発達、児童虐待予防や抑止に関する機能のほか、児童養護、子育て、発達、教育相談など、相談内容に沿った迅速に対応できる体制を整え、各関係機関と連携を図りながら支援を行えるようになった。また、母子保健コーディネーターを配置することで、妊娠期から安心して出産子育てができる体制を整えた。
- ◎ (事業名) 地域子育て支援拠点事業
社会からの孤立感や子育ての行き詰まりの防止、情報交換や育児相談の場、育児に対する学びの場として日常的に集う子育ての地域拠点事業として、市内12カ所にて運営を行っている。子育てアドバイザーのスキルアップのため連絡協議会などでの情報共有や研修会を定期開催している。各広場の特色を生かしながら、利用者のニーズに沿った運営や地元団体とのつながりがなされている。
- ◎ (事業名) 教育・保育事業
1号認定(3歳以上の教育ニーズ)及び2号認定(3歳以上の保育ニーズ)の児童は、希望する認定こども園及び希望する住所地の保育所等に入所できるよう量的確保をしてきた。3号認定(3歳未満保育ニーズ)の児童については、第1希望でない場合もあるが、いずれかの施設へ入所できている。

【次期プランに向けて】

- 様々な要因により発生する児童虐待をはじめ、家庭児童相談や発達相談などの相談件数は年々増加傾向にある。困難な環境にある子育て家庭を支えるためには、家庭への援助的側面と養育指導的側面の双方を積極的に取り入れ、関係機関との連携強化を図ることで、すべての子育て家庭が安心し、こころも身体も健やかに成長していくことができるような体制強化と継続的な子育て支援をしていく。

基本目標2

子どもの発達と親子の健康の確保及び増進
～子どもの発達と親子の健康を支えるまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね目標到達	目標到達にやや及ばず	目標到達できず
①	一貫した発達支援体制の整備	■	□	□	□
②	食育活動の推進	□	■	□	□
③	子どもの医療費助成の拡充	■	□	□	□
④	子育ての学び合いの推進	■	□	□	□

【主な事業内容】

- ◎ (事業名) 途切れのない発達支援体制整備事業
こども家庭応援センターでは、2歳児相談・3歳児健診での専門相談や、幼少期から発達に心配される子どもの情報を収集し、就学相談につなげるなど、幼保小の一環した発達支援を行うことで、一人ひとりの特性に合わせた途切れのない発達支援を行い、保健・医療・福祉・教育各分野による協働体制をより充実させてきた。
- ◎ (事業名) 安心して出産できる体制づくり事業
母子保健コーディネーター(保健師)を配置し、母子健康手帳交付時に面接と相談を行い全妊婦の状況を継続的に把握し必要に応じて支援を実施した。また周産期センターとも連携し安心して出産を迎えられる体制を整えた。出産されたお母さんと赤ちゃんがスムーズに新生活が送れるように、授乳育児相談や心身のケアや産後健診、育児サポートが受けられる宿泊型の産後ケア事業を開始するなど、妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援を充実してきた。

【次期プランに向けて】

- 母子保健と子育て支援の有機的連携を図りつつ、妊娠・出産・乳幼児期の育児を通して親と子の心身の健康を確保・増進させ、安全・快適に過ごすことができるよう、子どもの成長段階に応じた切れ目ない支援を引き続き継続していく。
また、子育て家庭の育児力の向上に向け、家庭教育に関する保護者への学習や親子がふれあう機会を充実させ、
- 特別な配慮を必要とする子どもとその家族の育ちを守り育て、社会参加を促すために、本人と家族の支援ニーズに対応したきめ細やかな相談と支援体制の充実及び、地域社会の適切な理解が求められるため、福祉・医療・教育等の関係機関による支援体制整備の充実を図り、一体的な取り組みを推進していく。
- 朝食欠食率の減少を目指し、若い世代・働き盛り世代を中心に朝食を食べることの大切さを引き続き伝えていくことで、共食率の向上を図っていく。

基本目標3

子どもが健やかに成長するための環境整備
～子どもの育ちを支える教育・健全育成のまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね目標到達	目標到達にやや及ばず	目標到達できず
①	放課後子どもプラン推進事業の拡充	■	□	□	□
②	子どもの「居場所づくり」の推進	■	□	□	□
③	地域力による子育ての応援の推進	□	■	□	□

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)放課後子どもプラン推進事業
放課後子ども教室は、丸山・竜丘・下久堅・追手町・座光寺の5カ所に拡大し、体験学習や地域住民との交流を行ってきた。事業に係わる地域の大人の子育て意識の醸成に努めた。放課後児童クラブの開所時刻を、一部地域を除き18時30分まで延長するなど利用者ニーズに沿った運営が行われてきた。
- ◎ (事業名)地育力向上連携システム推進事業
飯田型キャリア教育・LG飯田教育・小中一貫したキャリア教育指導計画の策定等がなされ、小・中学校と公民館の合同研修会、飯田OIDE長姫高校での地域人教育など、小・中・高と公民館(地域)との人的つながりができ、地域資源を活かした「ふるさと学習」が進展した。

【次期プランに向けて】

- 飯田市教育振興基本計画による市の教育ビジョンの確実な推進を図るため、個々の子どもが幼児教育期から義務教育へ円滑に移行できるように、「幼保小連携」を推進する。
- 子どもの健全育成に向けて、地域資源を活用した特色ある体験活動の場の提供を引き続き行い、コミュニティ全体で子育ての応援を推進していく。

基本目標4

仕事と家庭生活の両立の推進
～子育てと仕事の両立を支えるまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね目標到達	目標到達にやや及ばず	目標到達できず
①	親の働きやすい環境づくりの推進	■	□	□	□
②	仕事と家庭生活の調和を図る「ワークライフバランス」の推進	■	□	□	□

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)時間外保育事業
公立保育園10園、私立保育園17園、認定こども園6園、事業所内保育所2園で、園により延長時間の違いはあるが、保育標準時間(11時間保育)、保育短時間(8時間保育)ともに、朝・夕延長保育を実施し、増加する希望者の保育のニーズにも対応してきた。また、10月から幼児教育・保育の無償化制度の運用にあわせて、地域との協働により、公立保育園4園(川路、上久堅、丸山、三穂)で延長保育を実施した。
- ◎ (事業名)ワーク・ライフ・バランス推進事業
仕事と家庭を両立しワークライフバランスを推進するためには、家庭・事業所・行政が一体となって取り組むことが必要であることから、ワークライフバランスや働き方改革推進などの各種セミナーを、経営者や従業員、一般向け、女性対象に開催してきた。事業に取り組む事業所に対して表彰を行い他の事業所への啓発を実施してきた。

【次期プランに向けて】

- 令和元年10月の「3歳以上児の幼児教育と保育の無償化」を踏まえ、「市内の何処に住んでいても、保育要件の有無に関わらず、3歳以上児は無償で幼児教育を受けられるまち」の実現を目指し、幼児教育施設の運営を継続しつつ、保育所型認定こども園の導入等を視野に入れた「20地区のそれぞれに3歳以上児が保育要件に関わらず通園できる仕組み」を検討していく。
- 仕事と子育てを両立するために、保育サービスを併用しつつ、多様な就業形態を活用し、子どものそれぞれの発達段階に応じたワークライフバランスを推進していく。
また、晩婚化・晩産化が進む中、出産・子育てしながら家族介護も同時に行う家庭(いわゆるダブルケア)の発生が予想され、子育て支援と長寿支援の十分な連携によるサポートも必要となってくる。

基本目標5

地域のみんで支えあう子育て・子育ての推進
～子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね目標到達	目標到達にやや及ばず	目標到達できず
①	地域のみんで支えあう子育て・子育ての推進	■	□	□	□
②	地域の連携による子育て応援の推進	□	■	□	□
③	安全安心のまちづくりの推進	■	□	□	□

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)親・市民・地域・事業者等が自ら子育て・子育てを応援しようとする(むとす)事業
みんなで子育て応援サポーター会議の取材、編集作業により、子育て応援情報誌「みんなで子育てナビ」だけでなく、新たにお父さん向けの「いいだパパナビ」や祖父母向けの「まごナビ」を作成、発行し、各情報誌が親や祖父母の子育ての応援となるように母子健康手帳交付時に配布した。

【次期プランに向けて】

- 地域ぐるみで子どもの見守り活動を行うなど、世代を超えた地域の多様な主体による子育て・子育てを応援する活動を推進していく。